

令和6年9月11日

国土交通省関東地方整備局

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸『潮彩の渚』で夏休み調査体験を行いました

当事務所構内の生物共生型護岸「潮彩の渚」（人工干潟）において、『外来海洋生物観察会』と、『江戸前アサリ「わくわく」調査』を実施しました。

生物共生型護岸を活用した外来海洋生物観察会及び東京湾内各地での継続調査である江戸前アサリわくわく調査を、熱中症対策に配慮したプログラム構成で開催しました。

外来海洋生物観察会は、外来生物が運ばれてくる過程や実際に生活している様子などを広く知っていただくことを目的としています。

江戸前アサリわくわく調査は、アサリの幼生がいつどこでわくのかを調査し、その情報をもとにアサリが東京湾中で毎年わくようにすることを目的とした調査です。

どちらも小学生を対象に参加者を募集した結果、沢山の方にご参加いただきました。両日とも盛況に終了し、潮彩の渚には元気な子供たちの声が響き渡りました。

○外来海洋生物観察会

実施日：令和6年8月2日（金）

○江戸前アサリ「わくわく」調査

実施日：令和6年8月20日（火）

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所

TEL:045-461-3896 MAIL: info-y83ab*mlit.go.jp *は@マーク

環境課長 大坪貴明

外来海洋生物観察会

メインテーマの外来海洋生物（ミドリイガイ等）を中心に調査し、干潟の生物を顕微鏡で拡大したりしながら観察しました。

当日は岸壁に付着している生物を触ったときの反応に驚いていたり、子供たちの間で見つけた生物を共有して楽しんでいる様子うかがえました。

屋内では、講師の植田先生から外来海洋生物がやって来る経緯等について学び、自分たちでも他の生物について調べてみたいとの声も上がり、興味津々な様子でした。

他にも「まだまだ探したりない」「家に帰って調べてみる」といった感想があがり、外来海洋生物への関心を深めていました。

実施日：令和6年8月2日（金）10:00～12:00

場所：潮彩の渚（当事務所内の生物共生型護岸）

講師：植田育男先生（神奈川大学 非常勤講師）

参加者：一般応募の小学生12名、引率者8名



屋内オリエンテーション



植田先生による調査前のご説明



外来海洋生物等の調査場所
（潮彩の渚）



生物調査の様子

江戸前アサリ「わくわく」調査

調査の概要は、縦 25cm×横 25cm の枠内を 10cm 程度の深さまで土砂を掘り、その中のアサリの個体数や大きさを調べるというものです。人工干潟の上・中段の合計 16 地点で、合計 161 個、1～18mm のアサリを確認できました。（平均 1 地点あたりアサリ 10 個）

まず屋内での活動では、講師の風呂田先生からアサリの生態や成長について学んだ後、掘り出したアサリを自分たちで計測して色々な模様や形をした貝がいることに驚いていました。

屋外での活動では、子供たちが夢中になってアサリを掘り進める姿が見られました。アサリの他にもマテガイやシオフキガイも発見し、興味津々に観察する様子うかがえました。

参加者の皆さんからは「また参加したい」「アサリの成長について理解が深まり貴重な時間だった」といった感想をいただきました。

今回の活動を通じて、東京湾内のアサリや人工干潟の生物について理解を深めていただきました。

実施日 : 令和 6 年 8 月 20 日 (火) 10:00~12:00

場所 : 潮彩の渚 (当事務所内の生物共生型護岸)

講師 : 風呂田利夫 先生 (東邦大学 名誉教授)

参加者 : 一般応募の小学生 16 名、引率者 13 名



アサリの調査場所 (潮彩の渚)



アサリの調査状況



屋内アサリ講座



アサリの分別

【調査結果】

